

平成27年度安全管理優良事例集



平成27年9月
北陸地方整備局

はじめに

北陸地方整備局では、建設労働災害防止に資するため、管内における所管の工事等に関し、その安全管理及び労働災害防止策が優秀であって他の模範となる者を「安全管理優良受注者」として、平成 11 年から表彰しています。

本事例集は、平成 26 年度に完成した 919 工事 403 受注者の中から、社内の安全管理体制、工事現場における日々の安全活動、安全教育の充実、その他顕著な安全活動等について評価し、選定した 20 受注者における平成 26 年度の完成工事を題材とした安全管理について優良な取り組みの事例を紹介しています。

土木建設業については、一時期の公共工事の削減等に伴う過度な価格競争などにより、若年入職者の減少が進み、現在及び将来の担い手確保が重要な課題となっています。

若手入職者の確保、育成のための取り組みは、産学官が連携しながら様々なアプローチを行っていくことが大切ですが、その一つとして、建設業は危険な産業だとの思い込みイメージを払拭していくさらなる取り組みが重要です。

この機会に、建設工事現場の安全管理を、受発注者共通のテーマとして再認識し、本事例集にある他の現場等で取り組んでいる優良な安全管理の取り組みを参考にして、自らが関わる工事現場等の安全管理をさらに高度化するなど、建設業が「安全な産業」としての社会的認知を得ていく取り組みにつなげて頂ければ幸いです。

平成 27 年 9 月

北陸地方整備局 企画部長

平成27年度 安全管理優良受注者

NO.	受注者名	推薦事務所
1	株式会社曙建設	信濃川河川事務所
2	株式会社岡部	富山河川国道事務所
3	株式会社小野組	羽越河川国道事務所
4	株式会社鹿熊組	千曲川河川事務所
5	株式会社笠原建設	松本砂防事務所
6	株式会社加藤組	羽越河川国道事務所
7	共和土木株式会社	富山河川国道事務所
8	佐藤鉄工株式会社	金沢河川国道事務所
9	田中産業株式会社	高田河川国道事務所
10	東亜道路工業株式会社	新潟国道事務所
11	株式会社新潟藤田組	信濃川下流河川事務所
12	株式会社半澤組	敦賀港湾事務所
13	株式会社廣瀬	信濃川下流河川事務所
14	株式会社婦中興業	富山河川国道事務所
15	宝興建設株式会社	神通川水系砂防事務所
16	丸新志鷹建設株式会社	立山砂防事務所
17	水新建設株式会社	立山砂防事務所
19	株式会社明翫組	金沢港湾・空港整備事務所
18	株式会社村山土建	長岡国道事務所
20	株式会社レックス	長岡国道事務所

受注者50音順

株式会社曙建設

対象工事名:九日町・今町災害復旧工事
発注事務所:信濃川河川事務所
工期:平成26年5月12日～平成27年1月14日
工事概要:異形ブロック製作据付 248m 2,369個他
工事成績:78点



施工状況

安全管理概要

本工事は、平成25年9月16日発生災(台風18号)の災害復旧工事であり、再度災害防止のために出水期間中に2,369個もの異形ブロックを製作した上で早期の完成が必要な工事であった。異形ブロックの製作ヤードは出水の立ち上がり早い魚野川の高水敷であったことから、実践的な待避訓練を実施し、その結果を踏まえて待避基準を見直す等、出水時の安全対策に万全を期した。また、異形ブロックの運搬にあたっては公衆災害の発生が懸念されたが、現場近隣で施工が最盛期を迎えていた地域の基幹病院建設工事の運搬ルートとの調整を図る等きめ細かな対応により事故防止に努め、無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

日・週・月毎の安全施工サイクルを確立し、作業日毎にP(朝礼・TBM-KY)、D(作業)、C(巡視)、A(安全工程打合せによる是正)を行い作業員を含めた日々の安全活動を堅実に実施している。また、リスクアセスメントを取り入れたKYシートを活用したり、作業員に安全標語の募集を行い表彰・掲示する等、創意工夫を持って安全活動に取り組んでいる。

2. 社内の安全管理体制について

常務取締役を筆頭に安全衛生組織を確立し、年間の活動計画に基づき活動を実践している。毎月実施している店社安全パトロールでは、社長もしくは役職員が参加している他、部門長による無通告パトロールも組み合わせて社長を先頭に全社を挙げて労働災害防止に取り組んでいる。



安全標語



安全パトロール

株式会社曙建設

代表者：代表取締役 田尻 正敏

在地：新潟県長岡市干場2-17-9

株式会社岡部

対象工事名:国道8号 寺塚原地盤改良その2工事

発注事務所:富山河川国道事務所

工期:平成26年3月7日～平成27年1月16日

工事概要:掘削工 5,200m³

表層改良 3,915m²

深層改良 700本他

工事成績:79点



施工状況

安全管理概要

本工事における地盤改良箇所は、交通量の多い国道8号(4万台/日)と接近しており、改良土飛散等による第三者災害や一般ドライバーの脇見による交通事故が懸念されたため、自主措置として仮囲いを設置した。また、現場周辺道路は小学校の通学路となっていることから、登下校時、坂東交差点を横断する生徒の見守りを行った。

安全教育については、建災防による安全衛生教育の実施や、安全管理士による安パトを行うなど、積極的な安全意識の向上に取り組むことで、無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

・新規入場者に対して、マニュアルを使用した教育を行うとともに、健康状態については熱中症経験の有無を確認するなど、きめ細かい対応をしている。

・地盤改良箇所は、交通量の多い国道8号と接近していることから、第三者災害や交通事故が懸念されるため、新技術の仮囲い「プラットウォール」を使用するなど、積極的な事故防止を図った。

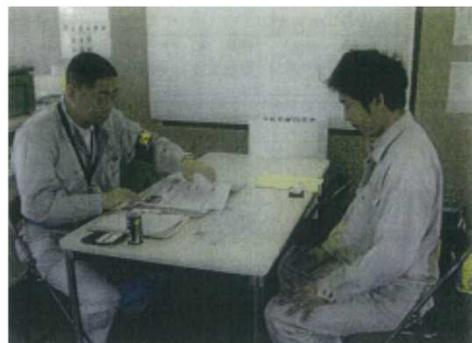
2. 社内の安全管理体制について

・安全衛生管理規定については、建災防コスモスセンター指導による「労働安全衛生マニュアル」を整備し、安全衛生管理組織体系が明確に定められている。また、安全衛生委員会として、「中央安全衛生委員会」が組織され、年4回の委員会が開催されている。

・店社による月1回(砺波東バイパス着手後は月2回)の安全パトロールの他に、安全管理士による個別指導や関連業者との合同安パトを実施。安全管理士からの指導については、速やかに是正報告を行った。



仮囲い



安全管理士による指導

株式会社岡部

代表者:代表取締役 稲積 欣治

所在地:富山県南砺市祖山39

株式会社小野組

対象工事名:乙大日川放水路人工リーフ補修他工事

発注事務所:羽越河川国道事務所

工期:平成26年5月8日～平成27年1月30日

工事概要:消波ブロック据付 316個

捨石工(海上) 一式

盛土 一式

コンクリートブロック張 一式

工事成績:78点



施工状況

安全管理概要

本工事は、乙大日川放水路の河口にある人工リーフの補修工事である。現場は、乙大日川放水路と荒川河口が近接・並列しており、乙大日川放水路には、荒川マリーナ、荒川には漁協があり施工時期にサクラマス漁、アユ漁との調整が必要であるとともに海上利用者と錯綜する中での施工である。

補修工事における海中作業は、河口付近のため、降雨後の河口濁水による稼働日の制限と視界不良による作業効率の低下から工程管理、安全管理等に細心の注意を払い、無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

災害防止協議会を設け、規約に基づき活動を月1回以上実施し、日々の安全ミーティング・リスクアセスメント・KYKを実施し記録がよく整備されている。また、日中は現場代理人と監理技術者が交代で現場巡視パトロールを実施して注意喚起に努めた。

地元漁協・荒川マリーナとは、積極的に連絡調整を図り、無事故・無災害で終えた。

2. 社内の安全管理体制について

工事着手前には、担当者だけでなく社内で三方良しのODSC(目的・成果物・成功基準)にて事業目的・照査・現場目的等を確認し、安全衛生委員長以下全社体制で、施工検討会議を行い、安全衛生について審査を行っている。

パトロールは、経営者、店社、安全衛生委員会にて実施し、パトロール結果の検討会后、現場安全指導を行うなど会社と現場が共通認識のもとで安全管理を行っている。また、異常時(災害時)計画書を作成・実施し、地域保全の対応も行っている。



安全ミーティング



三方良しに関する検討会

株式会社小野組

代表者:代表取締役社長 小野 貴史

所在地:新潟県胎内市西栄町2-23

株式会社鹿熊組

対象工事名: 蓮築堤工事
発注事務所: 千曲川河川事務所
工期: 平成25年5月31日～平成26年6月30日
工事概要: 築堤工 延長 2,079m
盛土工 33,200m³
工事成績: 80点



施工状況

安全管理概要

当該受注者は、社内の適正に確立された安全管理体制のもと、現場の指導を的確に行い工事を実施した。また、安全教育も作業員の意識が向上するよう工夫を凝らした教育がなされ、意識の向上に繋がっている。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

災害防止協議会は規約通り開催されており、その記録も整備されている。作業手順書は工種毎に図解等で、全作業員向けに分かり易く工夫された資料となっている。

休憩所の環境改善として設置したソーラーパネルによりエアコンやミスト等を稼働させた他、アイスや水分の配布などの熱中症対策を丁寧に行い、作業員の体力や集中力の持続に努めている。

2. 社内の安全管理体制について

現場の安全衛生管理計画書は、本社の安全衛生管理実施計画書に基づき、社内検討会で審議を行った上で作成されており、安全衛生管理基本方針に基づいた管理・運営が的確に行われている。

また、社内安全パトロールと安全衛生管理者による店社安全パトロールが月一回以上行われており、本社・安全衛生管理者・現場の三者による連携体制の元、事故防止の徹底が図られている。



熱中症対策



安全パトロール

株式会社鹿熊組

代表者: 代表取締役社長 鹿熊 厚 所在地: 長野県長野市大字鶴賀緑町1631-3

株式会社笠原建設

対象工事名:大所第2号上流第2砂防堰堤改築工事
発注事務所:松本砂防事務所
工期:平成26年3月14日~平成26年11月21日
工事概要:砂防堰堤改築工 一式(H=11.8m)
 構造物撤去工 一式他
工事成績:79点



完成状況

安全管理概要

左岸施工箇所上部に急峻な斜面がある厳しい現場条件の中、安全に施工を行うため、高さ20m程度から浮き石を除去し、防護ネットを設置した。また、左岸袖部取壊しで振動を与えると落石の危険があるため、取壊し範囲を少なくなるようにし、取り壊しは静的破碎材を用いる等、創意工夫し安全施工に努めた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

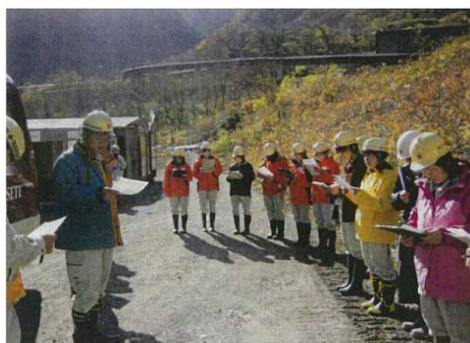
- ・新規入場者教育は現場に応じた資料により実施し、安全ミーティング、リスクアセスメント危険予知活動を的確に実施した。
- ・左岸袖施工に伴う安全確保のため、上部法面の点検調査、落石防止対策を実施し、静的破碎剤の使用により振動を抑えた施工方法を提案し、安全施工に努めた。また、上流域降雨状況の把握、上流取水施設関係者と情報交換を日々実施した。

2. 社内の安全管理体制について

- ・安全衛生管理体制が確立され、月1回の委員会を実施している。
- ・月1回、「会社役員パトロール」「衛生管理者パトロール」を実施している。
- ・月に複数回、安全管理者によるパトロールを実施している。
- ・年2回、協力業者と合同のパトロールを実施している。
- ・年1回、安全協力会社と合同の安全大会を実施し、安全意識の高揚が図られている。
- ・年1回、女子事務職を中心に女子パトロールを実施し、女性の視点から見た安全管理を行っている。



落石防止対策



女子パトロール

株式会社笠原建設

代表者:代表取締役 鈴木 秀城

所在地:新潟県糸魚川市大字能生1155-6

株式会社加藤組

対象工事名:大石ダム管理支所下方法面補修その2工事

発注事務所:羽越河川国道事務所

工期:平成26年5月9日～平成27年2月27日

工事概要:法面アンカー工 一式

法面アンカー受圧板 一式他

工事成績:80点



施工状況

安全管理概要

本工事は、大石ダム湖内右岸の管理支所下方法面を安定確保するため、グラウンドアンカー工等の法面補修を行う工事である。進入路、作業ヤードの一部が、管理支所建物とダム湖岸村道に面しており、施工時には一般の人や車両の通行に支障とならない調整を実施した。

12月期には大雪による急勾配法面の除雪を伴ったが、足場・施工の工夫、命綱等の確実な安全確保を行うことで作業効率の向上を図り、無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

毎朝のミーティング・KY活動、チェックシートを活用した使用機械点検、墜落・転落回避に必要な安全带、命綱、安全柵等の重点確認や巡視員による現場内の安全巡視等の当日点検に加えて、翌日の作業内容周知、早めの注意喚起を行い全作業員が安全施工に努めた。

また、現場は山あいの斜面上であり、日照時間の少ない時期の施工となることから、バルーン投光器を用いた足場上等作業箇所全体の視界確保、元請店社安全衛生管理者等による現場内通路の巡視点検の実施と現場へのフィードバック改善を行うなどの創意工夫が見られた。

2. 社内の安全管理体制について

年度安全衛生管理計画に基づいた、年間及び月毎の重点目標の外、当該現場で特に注意すべき「墜落・転落」を最重点に、各作業所に掲示し全作業員が一丸となり安全管理に取り組んだ。月に一度の店社安全衛生パトロールをはじめ、店社幹部による現場巡視においては、会社経営者が自ら急斜面上の現場、足場内にて指導を行い安全施工に努めた。また、災害防止協議会を設置し、月別安全衛生管理計画・安全重点目標を定め元請・下請が一体となった安全管理への取り組みが見られた。



現場へのフィードバック



安全大会

株式会社加藤組

代表者:代表取締役社長 加藤 善典

所在地:新潟県村上市久保多町7-3

共和土木株式会社

対象工事名:入善黒部バイパス 堀切道路改良その4工事
発注事務所:富山河川国道事務所
工期:平成26年4月22日～平成26年11月28日
工事概要:道路土工 路体盛土 17,000m³他
工事成績:79点



施工状況

安全管理概要

本工事は、入善黒部バイパスの黒部市堀切地先における路体盛土・補強土壁・排水溝等を施工する道路改良工事である。工区内には富山地方鉄道軌道敷が隣接し、また、市道に架かる跨道橋上部工事が施工中など安全面に対して大変厳しい条件の中、隣接工事と安全面での調整をし、土砂・資材搬入には市及び地元と綿密な運行調整を行った結果、無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

安全防止協議会と工事関係連絡会議を設置し規約に基づき月1回活動している。また、工事手順書を作成し作業員に周知し、安全施設は社内勉強会・安パト等を踏まえ適切に管理(日2回の安全巡視で)している。新規入場者教育や毎朝の安全ミーティングも確実に実施し、春秋の交通安全県民運動期間に地域と一体となって事故防止に努めている。

2. 社内の安全管理体制について

安全衛生管理マニュアル及び安全衛生管理組織により活動しており、毎年8月に協力会社を含む安全大会を開催し、安パトは社長始め幹部の月1回、総括安全衛生管理者の月2回の定期安パト・抜き打ち安パトを実践して安全及び労働衛生に積極的に取り組んでいる。また、施工計画作成時に社内検討会を開催し、安全管理について議論し作成している。



安全パトロール



社内検討会

共和土木株式会社

代表者:代表取締役社長 高村 克宏

所在地:富山県黒部市荒俣1600

佐藤鉄工株式会社

対象工事名:金沢東環 御所高架橋上部工事
発注事務所:金沢河川国道事務所
工期:平成25年8月8日～平成26年9月12日
工事概要:鋼橋上部工 橋長 156.5m 総鋼質量 369t
製作架設 一式他
工事成績:79点



施工状況

安全管理概要

本工事は一般国道159号金沢東環状道路の金沢市御所町～東長江町地先にて、鋼橋上部の製作、架設を行う工事である。

桁架設時等においては、現道(県道)の交通規制が伴うことから道路利用者への周知、安全の確保を適切に実施した。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

店社の安全衛生計画に基づき、現場での安全衛生協議会を組織し、安全衛生計画を作成し、日々の活動を行っている。

一般車両の安全確保のため通行止め(夜間)規制を行うにあたり、迂回路の設置や周辺への安全施設について、広範囲に情報提供を行い、安全に施工を行っている。

2. 社内の安全管理体制について

店社にて安全衛生管理規定に基づき安全衛生管理組織を設置し、災害・事故防止等に取り組んでいる。また、安全衛生委員会の開催や安全等にかかる資格取得に向けた講習会に参加している。



安全施設



安全パトロール

佐藤鉄工株式会社

代表者:代表取締役社長 村田 正 所在地:富山県中新川郡立山町銚木220

田中産業株式会社

対象工事名: 鶴町IC橋下部工事
発注事務所: 高田河川国道事務所
工期: 平成25年3月28日～平成26年6月30日
工事概要: 橋台工 1基(H=7.2m)
 RC橋脚工 1基(H=8.3m)
 仮設工 一式
工事成績: 80点



完成状況

安全管理概要

橋梁下部工の施工箇所において、オールケーシング工法による基礎杭を施工した後の橋台及び橋脚を施工するにあたり、現場に警報付デジタル風速計を設置してリアルタイムでの注意喚起を図るとともに、施工時期に応じた現場内の危険マップを作成して従事者へ周知徹底するなど、公衆災害防止に積極的に取り組む等安全対策を充実させ、各種パトロールを徹底し無事故で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

現場の風速による作業中止基準を明確にし、警報ランプ付きのデジタル風速計を設置して重機災害防止に努めた。また、店社から配信される熱中症警戒情報(WBGT測定器による)をパソコンメール及び携帯電話メールで受信し、現場従事者への周知・徹底を図るとともに四阿の設置や携帯品の充実等により労働災害防止に努めた。

2. 社内の安全管理体制について

社内における安全管理者会議の毎月開催及び店社パトロールを毎月2回実施し、協力業者とも連携した安全管理に取り組んだ。



WBGT測定器



安全パトロール

田中産業株式会社

代表者: 代表取締役 田中 利之

所在地: 新潟県上越市土橋1928

東亜道路工業株式会社

対象工事名:新潟国道管内構造物補修その2工事
発注事務所:新潟国道事務所
工期:平成26年5月2日～平成27年3月31日
工事概要:地下横断歩道補修工 一式
排水構造物補修工 一式
トンネル補修工 一式他
工事成績:79点



施工状況

安全管理概要

本工事は、新発田維持出張所と水原維持出張所管内の広範囲のなかで散在する箇所の維持工事を実施した。安全第一を基本理念に「事故防止」を第一目標とし安全管理に努めた。

なかでも、近隣工事や工事区間が重複する工事との工程調整、規制に関する安全管理等について中心的に連絡調整を行い主体的に実施した。また、トンネル内の狭い箇所や、急勾配の法面での作業においても日々の安全作業の徹底により工期内に無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

新規入場者教育、安全朝礼(健康チェック)、KYミーティング、重機・工具の初業前点検、有資格者の確認を実施し、作業中は安全巡視員によるパトロール、作業終了時には重機の終業時点検、現場内の整理整頓、清掃を行っている。

トンネル内のハツリ作業では高所作業車に飛散防止ネットを設置し、コンクリート殻落下による事故防止を行う工夫をした。

2. 安全教育の充実について

着手前に支社と共に安全大会を開催し、作業従事者一体で安全意識の向上を図っている。毎月実施する安全教育・訓練は実際の現場状況を想定してのクレーン作業及び高所作業の災害防止の教育・実地訓練を行った。

災害防止協議会の会長が職長・安全衛生責任者に教育を行い、資格取得の推進を図っている。



KYミーティング



安全衛生責任者教育

東亜道路工業株式会社

代表者:取締役社長 吉原 健一

所在地:東京都港区六本木7-3-7

株式会社新潟藤田組

対象工事名: 関屋分水路河道掘削その5工事
発注事務所: 信濃川下流河川事務所
工期: 平成26年7月1日～平成27年2月16日
工事概要: 掘削工(バックホウ浚渫船) 25,900m³
掘削土処理工 一式
仮設工 一式
工事成績: 77点



施工状況

安全管理概要

本工事は関屋分水路における河道掘削工事であり、河道掘削、土砂運搬作業が主な作業内容となった。そのため、本社と作業現場が一体となった安全管理の取り組みを行い、安全で快適な職場環境を目指すとともに、各々の作業毎に安全教育、日々の安全巡視等の工夫を行い、その取り組みが効果を発揮し、無事故・無災害で工事を完了させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

毎朝作業開始前に全作業員の体調チェック及びKYミーティングを実施して作業を行っている。1日2回午前・午後には作業所長・安全巡視員による現場パトロール・土砂運搬パトロールにより、交通ルールの厳守及び安全施設等の不備を即是正している。また、災防協において、協力業者幹部にも周知することで、協力業者と連携した安全体制で現場運営を行っている。

2. 社内の安全管理体制について

安全衛生委員会組織のもと、月一回の安全衛生委員会、並びに毎年関連会社と協力会社参加のもと、安全大会を実施している。

また、安全課による月二回以上の現場パトロールに加え、労働災害防止強調期間には会社幹部による安全パトロール、社員に対する安全管理教育訓練のため年4回のスキルアップ研修等を積極的に実施している。



土砂運搬班朝礼



安全衛生推進大会

株式会社新潟藤田組

代表者: 取締役社長 藤田 直也

所在地: 新潟市中央区白山浦2-645-1

株式会社半澤組

対象工事名: 福井港海岸(福井地区)離岸堤(潜堤)消波工事(その1)

発注事務所: 敦賀港湾事務所

工期: 平成26年9月16日～平成27年2月20日

工事概要: 異形消波ブロック(25t)製作 500個他

工事成績: 78点



施工状況

安全管理概要

本工事は、福井港海岸(福井地区)離岸堤(潜堤)に据付を行う、テトラポッドの運搬、ラクナ・および中空三角ブロックの製作を行う工事である。特に中空三角ブロック25t型は、事前にブロックメーカー及び作業従事者全員による施工検討会を行い、型枠組立作業手順の確認、安全な足場試作品の製作設置、コンクリート打設時の安全確認とその調整を行った。

また、型枠が大きいことから、型枠脱型時前の転倒方法などを検討した作業手順書により、安全に作業するために必要なスペースを確保し、現場誘導看板・車輛制限速度・一旦停止の安全看板を設置するなど、狭隘な作業ヤードにおいて無事故・無災害で完了させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

月々の安全パトロールには経営層を加えて綿密に行うと共に、専門工事業者も交えた災害防止協議会を月々で開催している。又、安全衛生向上のため、現場内にデジタル風速計及びそれに連動するパトライトを設置、ヤード内の離れた場所からでも風速を確認できるようにする、極低騒音型バックホウを使用し、エンジン音による合図のかき消され防止及び作業環境改善を図るなど創意工夫にも積極的に取り組み、災害発生防止を図っている。

2. 社内の安全管理体制について

社内の安全衛生管理規定及び安全衛生管理組織が整備されており、安全衛生推進者が中心となり月次にて安全衛生協議会を開催、安全管理状況の確認・検討を行っている。又、年1回の安全大会と月次の社内安全パトロールに加え経営トップによる全社一斉安全パトロールも実施し、会社全体での安全管理体制を整えている。



デジタル風速計



安全パトロール

株式会社半澤組

代表者: 代表取締役 半澤 政丈

所在地: 福井県坂井市三国町三国東6-5-13

株式会社廣瀬

対象工事名: 鑄物師興野河道掘削その3工事
発注事務所: 信濃川下流河川事務所
工期: 平成26年3月15日～平成26年11月14日
工事概要: 河道掘削工 24,100m³
盛土工 一式
残土処理工 一式
仮設工 一式
工事成績: 78点



施工状況

安全管理概要

労働災害防止計画を定め、組織として各種安全活動を行い労働災害の撲滅に取り組むとともに、安全管理を含めた業務改善の継続的な取り組みを行っている。また、各種機関と災害時の協定を締結している。本工事現場では、日々の安全活動の他、安全教育訓練を工夫し、現場の特性に即した安全衛生活動を実施した。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

工事現場では災害防止協議会を設け、会則に基づき月1回以上開催した。また作業計画・作業手順書を適宜作成し、特に土砂運搬においてはダンプ運行マップ作成検討会を設け作業手順を定めるとともに、新規入場者教育ではリスクマップにより安全意識の共有化を図っている。日々の安全活動では、安全ミーティング・KY活動を着実に実施し、土砂運転手に対し特にダンプトラックKY活動を実施し、さらに現場内安全点検を日2回実施するとともに、安全運行巡視員を定め土砂運搬経路上でのパトロールを行い注意喚起に努めた。

2. 社内の安全管理体制について

毎年労働災害防止計画を作成し、基本方針・重点施策の設定、四半期別安全衛生計画を定め安全衛生委員会、各種安全活動、安全衛生教育の推進を行っている。工事着手前には、安全衛生管理者、部門長の下で施工検討会議を開催し、安全衛生項目の審査を実施するとともに、工事期間中においては、会社役員、店社、安全衛生委員会によるパトロールがなされ会社と現場の共通認識を語る安全管理を実践している。



ダンプ運行マップ作成検討会



災害防止協議会

株式会社廣瀬

代表者: 代表取締役 廣瀬 徳男

所在地: 新潟市西区善久823

株式会社婦中興業

対象工事名: 鵜坂護岸工事
発注事務所: 富山河川国道事務所
工期: 平成26年5月14日～平成27年2月27日
工事概要: 護岸工 延長 120m他
工事成績: 78点



施工状況

安全管理概要

本工事は、一級河川神通川左岸10.1kにおいて、練石張護岸工(L=120m)及び根固め工を施工したものである。

現地測量の結果、当初発注の仮締切では対象流量を流下できない事が判明したこと、内水面漁協との協議によりアユ漁獲時期を外した10月20日以降に、約90,000m³の瀬替え掘削を行わなければならないという厳しい条件の下、各種団体との工程調整や安全管理の他、現場の作業環境改善も兼ね、緊急時には担架として使えるベンチ椅子を常設するなど安全に対する創意工夫にも積極的に取り組み無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

1日の安全施工サイクル(ラジオ体操・朝礼・リスク低減対策KYK・始業前点検・安全巡視・作業予定打合せ・持場の片付・終業時点検)及び5S運動(整理・整頓・清潔・清掃・しつけ)を確実に実行し、作業員の安全意識の向上や作業環境の改善に努めた。

また、熱中症防止を重点に掲げ、休憩施設や対策グッズを完備する他、熱中症予防・救急医療カードを作業員全員に配布し、WBGT値を常に把握することにより熱中症災害防止に努めた。

2. 社内の安全管理体制について

安全衛生管理計画を作成・実施しており、安全行事は定期的で開催し、会社全体で事故防止に取り組んでいる。また、現場への支援として、月2回の店社パトロールの他、年4回の社長メッセージ配布(全作業所)及び緊急時の一斉メール配信など、安全管理に対する作業所への支援体制が確立している。



安全ミーティング



安全会議

株式会社婦中興業

代表者: 代表取締役社長 竹内 茂

所在地: 富山県富山市婦中町速星478

宝興建設株式会社

対象工事名:砂防堰堤補強他その2工事
発注事務所:神通川水系砂防事務所
工期:平成26年4月1日~平成27年3月31日
工事概要:砂防堰堤補強工 一式他
工事成績:77点



完成状況

安全管理概要

会社の安全衛生管理計画に基づき社長自らトップとなって活発な活動を組織的に実施しており、現場での安全点検・パトロールの他、会社役員が参加する月1回の店社パトロールでは、点検結果を速やかに現場作業員に周知し、改善と意識啓発を図っている。

また、本工事では、事務所管内全域を対象とする工事であり、工事箇所が広範囲に点在し、工種も多く、箇所毎の工事期間も短期となる現場であったが、各箇所の現地状況や安全対策、公衆災害等に関する現場特性を十分把握した上で毎朝の安全ミーティングでそれらの情報等をしっかり作業員に周知するなどきめ細かな安全管理を行っている。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

- ・安全パトロールでの指摘事項は、翌日の作業前ミーティングで、全作業員に周知すると共に的確に改善を行い、関係者には是正報告も確実に実施されている。
- ・事業の概要や整備効果、当該現場に対応した安全衛生に関する教育資料に基づき新規入場者教育を実施し、その内容も記録されている。
- ・当該工事は、様々な工種、かつ、点在する現場での工事であったことから、重機等の窓等のオペレーターから良く見える場所に各現場に応じた注意事項等を貼付けるなど、きめ細かな安全管理を行った。

2. 社内の安全管理体制について

- ・店社の「安全衛生管理規定」に基づき「安全衛生管理組織」を整備し、会社として安全衛生に積極的に取り組んでいる。
- ・店社及び協力会を対象に、安全大会を開催し、その中で、AED・応急処置の講習会を実施するなど社員の安全管理、健康管理を推進している。



事故防止対策



安全パトロール

宝興建設株式会社

代表者:代表取締役社長 上北 一久 所在地:岐阜県高山市上宝町在家1538

丸新志鷹建設株式会社

対象工事名: H26 瀬戸蔵砂防堰堤下流床固工工事
発注事務所: 立山砂防事務所
工期: 平成26年8月4日 ~ 平成27年3月30日
工事概要: 砂防土工 一式
 床固工 2基他
工事成績: 77点



施工状況

安全管理概要

本工事は、常願寺川中流部の称名川合流点に位置し、上流砂防堰堤群の基幹堰堤として位置づけられている瀬戸蔵砂防堰堤の下流洗掘防止対策として、床固工を施工するものである。称名川と本川における出水の危険性がある事を十分配慮した対策を行い、降雨時の雨量基準等を厳格に設定し「緊急連絡体制の確立」「避難訓練の実施」「残存型枠の試験施工による安全教育」など工事関係者の安全意識の向上に努め無事故で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

作業手順書に基づき、作業内容毎の確認を新規入場者教育で全員に周知徹底し、毎日行う作業打合せと朝礼やKY活動、始業前点検、安全衛生打合せで安全意識の向上に努めた。日々の安全巡視では、安全施設の点検巡視の他、本川仮締切の点検と、現場の雨量観測、水位観測、降雪・積雪量観測を行うなど、日々の活動を積極的に行うことにより事故の撲滅に努めた。

2. 社内の安全管理体制について

安全衛生委員会を設置し、安全衛生管理に関する基本方針や安全管理目標を設定した上で安全衛生管理計画書を作成、年間の安全衛生活動の決定や社内の安全行事を実施するなど安全管理に努めた。また、現場毎に安全衛生計画書を作成し、施工検討会で内容の検討を行った。毎年安全祈願祭や会社創立記念日において安全大会を実施し、安全衛生活動に貢献した者を表彰し、工事関係者の安全衛生に対する啓発を図った。



雨量計



施工検討会

丸新志鷹建設株式会社

代表者: 代表取締役社長 志鷹 新樹 所在地: 富山県中新川郡立山町芦峯寺49

水新建設株式会社

対象工事名: H26 有峰地区溪岸対策(一の谷)その2工事
発注事務所: 立山砂防事務所
工期: 平成26年5月19日～平成26年10月30日
工事概要: 掘削工 一式
 斜面对策工 3,060㎡
 植生工 3,060㎡他
工事成績: 78点



施工場所全景

安全管理概要

本工事は、降雨等による浸食が著しく、崩壊土砂が湯川下流へと流出している大規模崩壊地において、山腹工を施工する斜面对策工事である。

施工箇所は、地上から高さ約200mでの崩壊地であり、墜落・転落災害や落石等の飛来・落下災害等、事故があれば重大災害につながる非常に厳しい現場条件であった。その中で、安全带・ロリップの安全点検の徹底を図ったほか、特に急峻な区域においてヘリコプターを用いた資材運搬の工夫を行うなど、現場に即した安全対策を的確に実施し、無事故で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

災害防止協議会を組織し活動することで、協力会社と一体となった安全活動に取り組んだ。朝礼時には、リスクアセスメントの手法を取り入れたKYK活動と現場模式図を使った工事安全打合せ簿を日々作成し、作業員に見えるように現場で掲示することで安全意識の高揚を図った。新規入場者教育は、水谷平での生活にかかる事項も含めて現場条件にあった資料を作成し実施した。

2. 社内の安全管理体制について

安全衛生管理規定を整備するとともに、各作業所の現場代理人が参加する安全衛生委員会を設置し、作成した安全衛生管理計画書に基づき、活動を実施している。毎年7月には社内安全大会を開催し、社内安全パトロールを月1回以上実施している。



安全掲示板



安全パトロール

水新建設株式会社

代表者: 代表取締役社長 水野 幸裕

所在地: 富山県富山市笹津1区139-1

株式会社明翫組

対象工事名:金沢港(大野地区)防波堤(西)嵩上工事
発注事務所:金沢港湾・空港整備事務所
工期:平成26年6月12日～平成26年10月17日
工事概要:上部・場所打コンクリート工 1,270m³他
工事成績:77点



施工状況

安全管理概要

本工事は、金沢港港口部の航路に隣接する西防波堤において、上部工の嵩上げ(L=129.5m)を行うものである。当該受注者は、防波堤上での作業を考慮し、墜落転落災害防止を重点的に行い、社員及び作業員の健康管理に努め、安全意識の向上等安全活動に取り組んでいる。

また、月3回の店社パトロールを実施し、社内一丸となり労働災害防止に努めているほか、事前に関係者(漁協、港運会社等)へのお知らせを配布して公衆災害への防止に取り組み、無事故・無災害で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

- ・作業前におけるKY活動等の安全ミーティングを実施し、水分等摂取チェック表や熱中症に関する健康状況自己チェックシートを作成するなど、作業員の健康管理にも十分配慮されている。
- ・作業手順書はポンチ絵など用いてわかりやすく作成され、記録が整理されている。
- ・災害(公衆・労働)防止対策に関する安全施設が適切に整備されている。

2. 社内の安全管理体制について

- ・「安全衛生委員会」を毎月開催し、各現場へ議事録を周知すると共に、「安全衛生管理計画」については全職員共通の課題として取り組んでいる。
- ・毎月1日に社員全員参加による「安全大会(朝礼)」を実施しており、1、7月期には外部講師を招いて安全に関する講義を行うなど、積極的な知識習得に努めている。
- ・施工計画は「社内検討会」を設置し、施工方法・工程管理・安全管理等全般について、検討、作成している。
- ・月3回の店社パトロールを行い、是正箇所があった場合はその都度、是正報告している。



外部講師による講義



安全パトロール

株式会社明翫組

代表者:取締役社長 明翫 章宏

所在地:石川県金沢市泉野町6-15-15

株式会社村山土建

対象工事名:国道253号八箇地区道路その6工事

発注事務所:長岡国道事務所

工期:平成25年5月16日~平成26年9月10日

工事概要:掘削工 64,480m³

法面工(法面整形) 一式

排水構造物工 一式

仮設工 一式

工事成績:80点



施工場所全景

安全管理概要

本工事は、切土(掘削約65,000m³)工事である。本工事現場は搬入路が一箇所しか無く、他工事と輻輳する中での工事であった。他工事と工事連絡会を設け工程調整を行うと同時に搬出箇所も他方面に渡る中その都度、地元説明会を開催し地元住民への理解に努め、土砂搬出計画を行い無事故で工事を完成させた。

評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

- ・安全管理計画(リスクアセスメント)に基づき入場者教育を実施した。
- ・工程打合せ日誌と連動したKY活動(リスクアセスメント)を実施した。
- ・運行管理として重量計による過積載防止、タイヤ洗浄機、気象観測として通信型雨量計の設置、WABカメラの設置、アルコールチェックなども日々実施し管理している。

2. 社内の安全管理体制について

- ・安全衛生委員会規定・安全衛生管理計画を整備し、安全衛生委員会の内容が充実し、積極的な活動が顕著であった。
- ・安全大会や施工研究発表会、安全教育講習会を実施し安全に対する活動や社員教育にも積極的な活動が顕著であった。



重量計による過積載防止



安全教育講習会

株式会社村山土建

代表者:代表取締役社長 村山 政文

所在地:新潟県十日町市山本町1-71-1

株式会社レックス

対象工事名:長岡・柏崎維持出張所管内交通安全施設等設置工事

発注事務所:長岡国道事務所

工期:平成25年10月25日～平成26年9月30日

工事概要:橋梁防護柵工 314m

標識設置 9基

情報ボックス耐火防護 一式他

工事成績:80点



施工状況

安全管理概要

十日町高架橋の現場は密封足場内であり、熱中症対策とし送風機や温湿度計の設置をした。また、熱中症チェックシートにより、ハード・ソフト面での改善を図り、無災害・無事故で完成させた。

OHSAS18001(労働衛生マネジメント)の認証を取得し、全社で安全管理体制や日々の安全活動・安全教育等のシステムを確立して安全管理レベルの向上を図っていた。

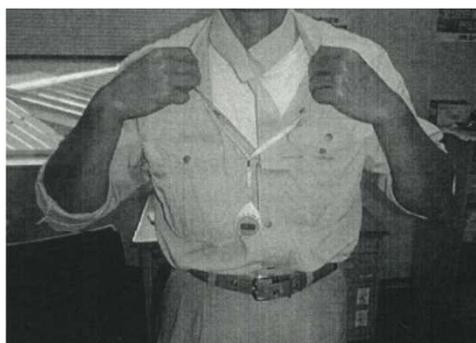
評価ポイント

1. 工事現場における日々の安全活動について

朝礼時には作業内容、安全指示事項、危険箇所の指示、健康状態確認を行い、熱中症へは職長が朝、AM、PM休憩時(昼食時含む)のチェックを実施した。また、KY活動、車両の始業前点検、第三者への安全対応を着実に実施した。

2. 社内の安全管理体制について

本社役員及び各支店・営業所幹部による中央安全衛生委員を組織し、全社における労働災害、公衆災害、交通災害を防止する為、安全大会、現場パトロール、安全教育、健康管理の実施を労働安全衛生計画書に定め、各支店・営業所の工事課長で構成される安全衛生推進員により、日々実践されている。



携帯型熱中症計



安全パトロール

株式会社レックス

代表者:代表取締役社長 馬場 晃

所在地:新潟市中央区南長潟12-10

北陸地方整備局 企画部 技術管理課

TEL 025-280-8880 FAX 025-280-8861

HP <http://www.hrr.mlit.go.jp>

ご意見・ご要望等がありましたら上記までお寄せ下さい。